

## 2. “とちぎ”の現状についての評価と、これからの取組の必要性など

### (1) “とちぎ”の現状評価について

行政の取組だけでなく民間等の活動も含めて、市町村長が、郷土“とちぎ”の現状をどう評価しているかを把握するため、「とちぎ21世紀プラン」の政策体系に基づく73の施策を57の分野に分け、次の区分により選択してもらった。なお、施策と設問分野の関係は、次ページのとおりである。

#### 【現状評価の程度】

- |             |              |              |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. 充実している   | 2. わりと充実している | 3. どちらともいえない |
| 4. やや不十分である | 5. 不十分である    |              |

57分野の現状評価結果はp7（満足意識の高い順）、p8（不満意識の高い順）のとおりである。

また、各分野ごとに、「充実している」「わりと充実している」と回答した市町村の割合の合計を『満足意識』、「やや不十分である」「不十分である」と回答した市町村長の割合の合計を『不満意識』として示した。

なお、市・町村別、地域別区分は、それぞれ『満足（不満）意識』の高い分野についての第5順位までを後掲の「参考表」において整理した。

#### ① 全体の特徴

『満足意識』の高い分野は、

- ・ 「25.特色ある農産物の生産」（回答数 29、59.2%）
- ・ 「38.安全で安定した水の供給」（同 27、55.1%）

一方、『不満意識』の高い分野は、

- ・ 「54.廃棄物対策」（回答数 34、69.4%）
- ・ 「44.公共交通ネットワーク」（同 33、67.4%）
- ・ 「12.本県のイメージアップ」「32.地域に密着した産業の育成」（同 32、65.3%）
- ・ 「21.ひとにやさしいまちづくり」「56.地球温暖化の防止」（同 30、61.2%）

#### ② 属性別の特徴

市・町村別でも『満足意識』の高い分野は全体と同様であるが、市・町村間の差が大きい分野は「31.中小企業への支援」や「43.公園や水辺の整備」で、市ではいずれも満足意識が高いが、町村では低い。逆に「18.医療サービス」は町村での満足意識が高い。

地域別でも『満足意識』の高い分野は全体と同様であるが、特筆すべき点として、県北では「47.災害対策」、県央では「1.基礎学力の向上」、県南では「7.生涯学習」の『満足意識』が高かった。

★とちぎ21世紀プランの政策体系

基本目標1	111	生きる力をはぐくむ学校教育の推進
	112	社会の変化に対応した学校教育の充実
	113	個性を生かす学校教育の充実
	115	私学教育の振興
	114	豊かな教育環境づくりの推進
	121	青少年を育成する基盤づくり
	122	青少年の自立と社会参加の促進
	123	青少年を取り巻く環境の健全化の推進
	131	生涯学習の推進
	132	県民文化の振興
	133	県民総スポーツの推進
	141	県民の社会参加の促進
	142	県政への県民参加の推進
	143	イメージアップの推進
144	国際化の推進	

基本目標2	211	子どもを健やかに生み育てる環境づくりの推進
	212	高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進
	213	障害者の自立支援と社会参加の推進
	221	健康づくりの推進
	222	安心で良質な医療の確保
	231	地域保健福祉の充実
	232	保健・医療・福祉を支える人材の育成
	233	ひとにやさしいまちづくり
	241	人権の尊重
	243	同和問題の解決
	242	男女共同参画の促進

基本目標3	311	活力ある担い手の育成
	312	地域性豊かな農業生産の推進
	313	消費者の視点を重視した流通対策の推進
	314	環境と調和のとれた持続的な農業生産の推進
	315	食と農を支える基盤づくり
	321	豊かな森林づくり
	322	特用林産（きのこ・山菜・木炭など）の振興
	323	流域林業（生産から流通まで）の推進
	331	新たな事業創出の促進
	332	中小企業の経営資源の充実
	333	地域に密着した産業の育成
	334	産業基盤の整備と企業立地の促進
	341	“観光とちぎ”の誘客推進
	342	地域と一体となった観光の振興
	351	勤労者生活の向上
352	地域雇用の安定	
353	職業能力の開発と技能向上支援	

基本目標4	411	良好な住まい・住環境づくり
	412	安全で安定した水の供給
	413	適切な土地利用の推進
	414	下水道の整備普及
	421	快適で活力ある都市の整備
	422	住みよい農山村づくり
	423	美しい景観づくり
	424	地域の特性を生かしたふるさとづくり
	425	花と緑あふれる環境の整備
	426	特色ある公園や親しみある水辺の整備
	431	公共交通ネットワークの整備
	432	体系的な道路網の整備
	433	快適で安全な道づくり
	434	地域情報ネットワークの整備
	441	治山・治水・砂防の推進
	442	地域防災力の向上
	443	防災基盤の整備
	451	地域安全対策の充実
	452	被害者・相談者への支援活動の強化
453	交通安全の確保	
454	消費生活の安定	
455	生活衛生の確保	

基本目標5	511	良好な地域環境の保全
	512	廃棄物対策の推進
	521	豊かな自然環境の保全
	522	自然との豊かなふれあいの実現
	531	地球温暖化防止対策の推進
	532	オゾン層保護と酸性雨対策の推進
	541	自主的な環境保全活動の促進
	542	環境学習の推進

☆〔市町村長意向調査における質問項目〕

I 教育	1	基礎学力の向上
	2	心の教育
	3	社会の変化に対応した学校教育の充実
	4	個性を生かせる学校教育の充実
	5	快適でゆとりある教育環境
	6	青少年の健全育成
II 地域活動・ 文化など	7	生涯学習
	8	県民文化
	9	県民総スポーツ
	10	社会貢献活動
	11	行政への住民参加
	12	本県のイメージアップ
	13	国際化への対応

III 保健・医療・ 福祉など	14	子育て環境
	15	高齢者の自立と生きがいづくり
	16	障害者の自立と社会参加
	17	健康づくり
	18	医療サービス
	19	地域社会における保健福祉ネットワーク
	20	保健・医療・福祉を支える人材の育成
	21	ひとにやさしいまちづくり
	22	人権を尊重する社会づくり
	23	男女共同参画社会づくり

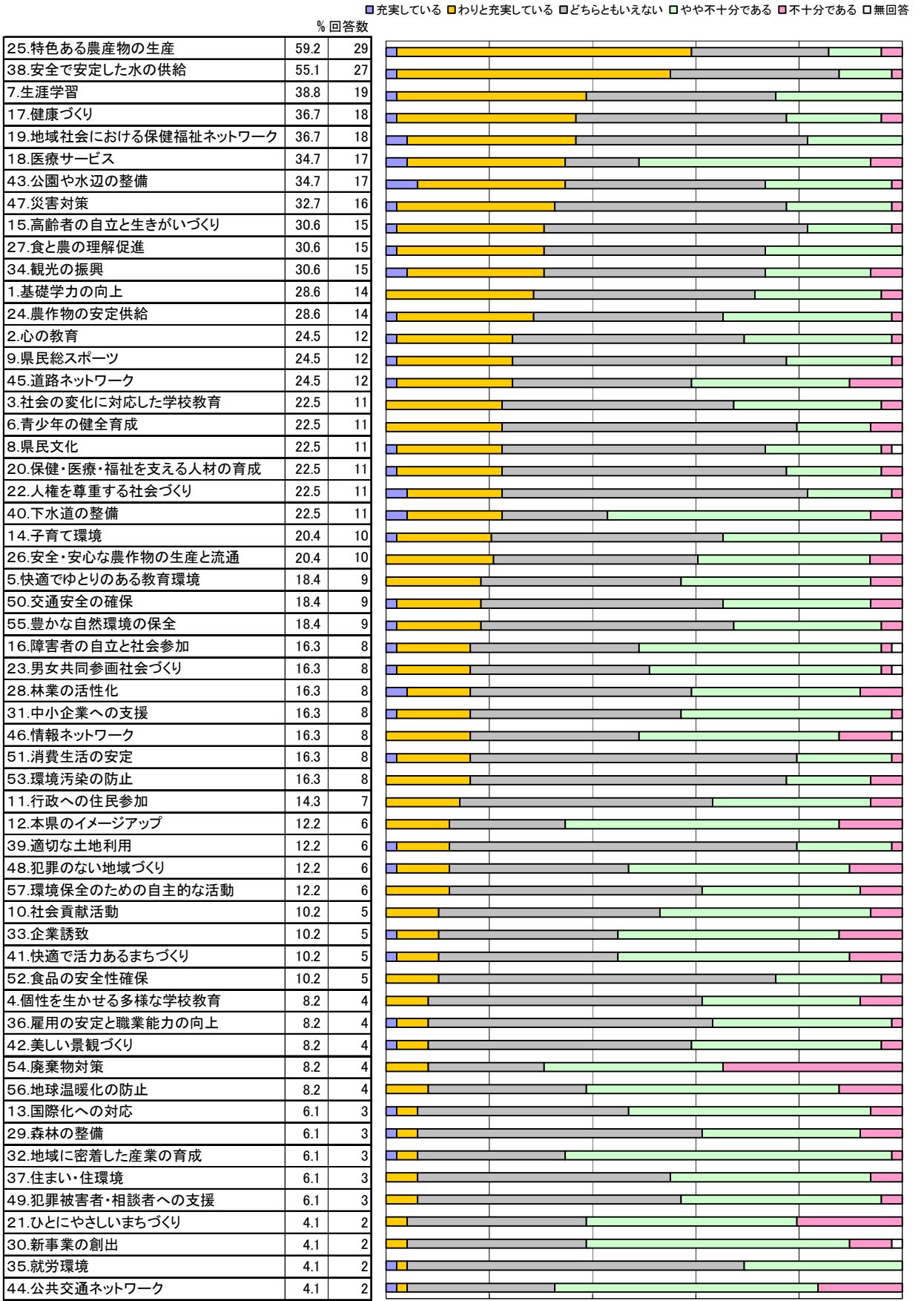
IV 経済・産業	24	農産物の安定供給
	25	特色ある農産物の生産
	26	安全・安心な農産物の生産と流通
	27	食と農の理解促進
	29	森林の整備
	28	林業の活性化
	30	新事業の創出
	31	中小企業への支援
	32	地域に密着した産業の育成
	33	企業誘致
	34	観光の振興
	35	就労環境
36	雇用の安定と職業能力の向上	

V 生活基盤・ まちづくり	37	住まい・住環境
	38	安全で安定した水の供給
	39	適切な土地利用
	40	下水道の整備
	41	快適で活力あるまちづくり
	42	美しい景観づくり
	43	公園や水辺の整備
	44	公共交通ネットワーク
VI 防災・安全	45	道路ネットワーク
	46	情報ネットワーク
	47	災害対策
	48	犯罪のない地域づくり
VII 環境	49	犯罪被害者・相談者への支援
	50	交通安全の確保
	51	消費生活の安定
	52	食品の安全性確保

VII 環境	53	環境汚染の防止
	54	廃棄物対策
	55	豊かな自然環境の保全
	56	地球温暖化の防止
	57	環境保全のための自主的な活動

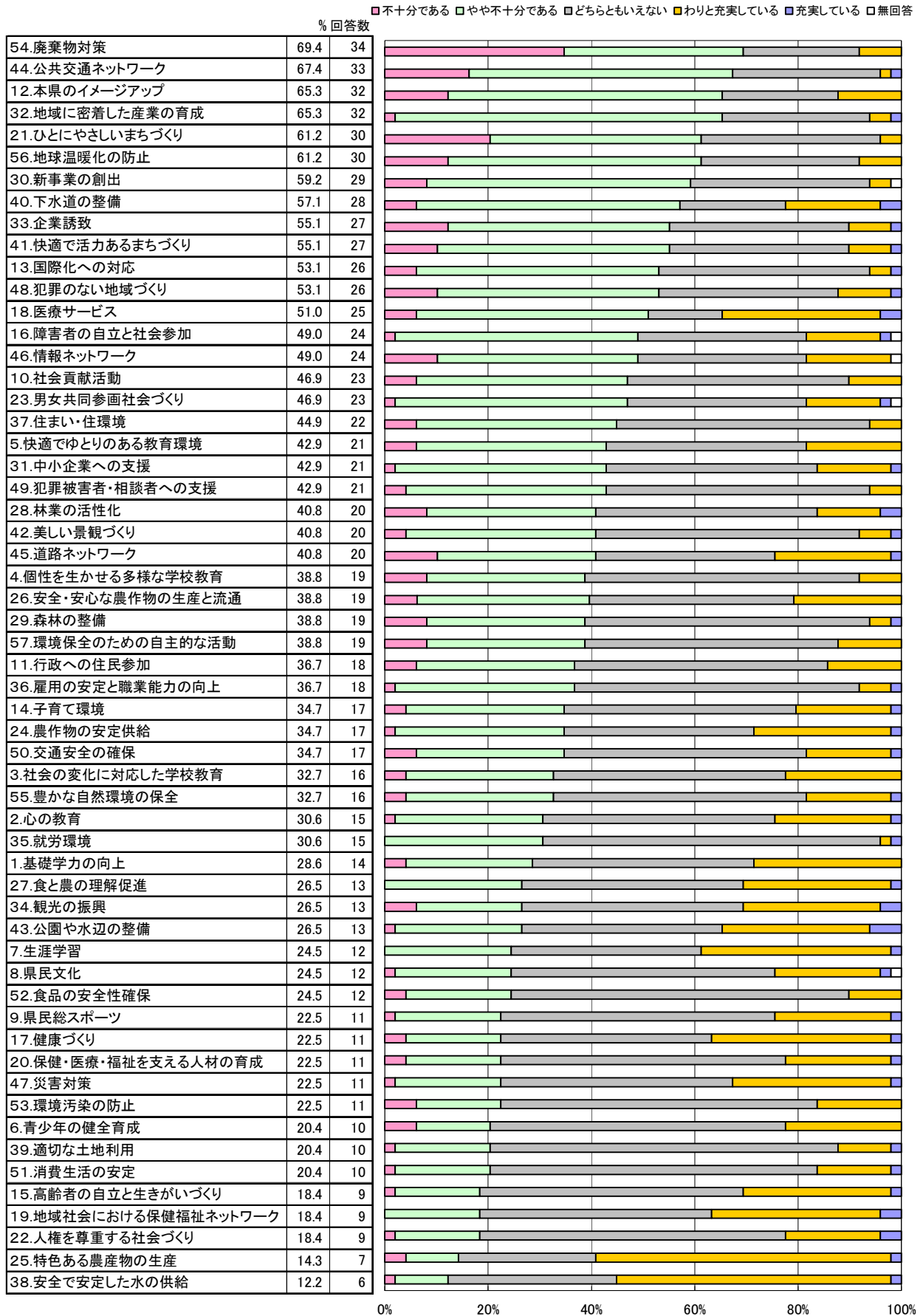
注)都合上、施策番号と項目番号が前後する場合がある。

□「とちぎ」の現状についての評価(1) (「充実している」及び「わりと充実している」を回答した割合順)



※回答者全体に対する割合

□“とちぎ”の現状についての評価(2) (「不十分である」及び「やや不十分である」を回答した割合順)



※回答者全体に対する割合

## (2) 今後の行政の取組の必要性について

今後の行政の取組の必要性に対する、市町村長の認識を把握するため、57分野ごとに次の区分により選択してもらった。

### 【行政の取組の必要性の程度】

1. 特に重点的に取組む
2. 現状以上に取組む
3. 現状程度に取組む
4. 現状以下でよい

57分野の取組の必要性の評価結果はp10のとおりである。

また、「特に重点的に取組む」「現状以上に取組む」と回答した市町村長の割合の合計を『必要意識』として示した。

なお、市・町村別、地域別区分は、それぞれ『必要意識』の高い分野・低い分野についての第5順位までの分野の『必要意識』を後掲の「参考表」において整理した。

### ① 全体の特徴

『必要意識』の高い分野は、

- ・「54.廃棄物対策」(回答数 49、100%)
- ・「14.子育て環境」(同 45、91.8%)
- ・「2.心の教育」、「48.犯罪のない地域づくり」(同 44、89.8%)
- ・「1.基礎学力の向上」、「5.快適でゆとりのある教育環境」、「11.行政への住民参加」(同 43、87.8%)

一方、『必要意識』の低い分野は、

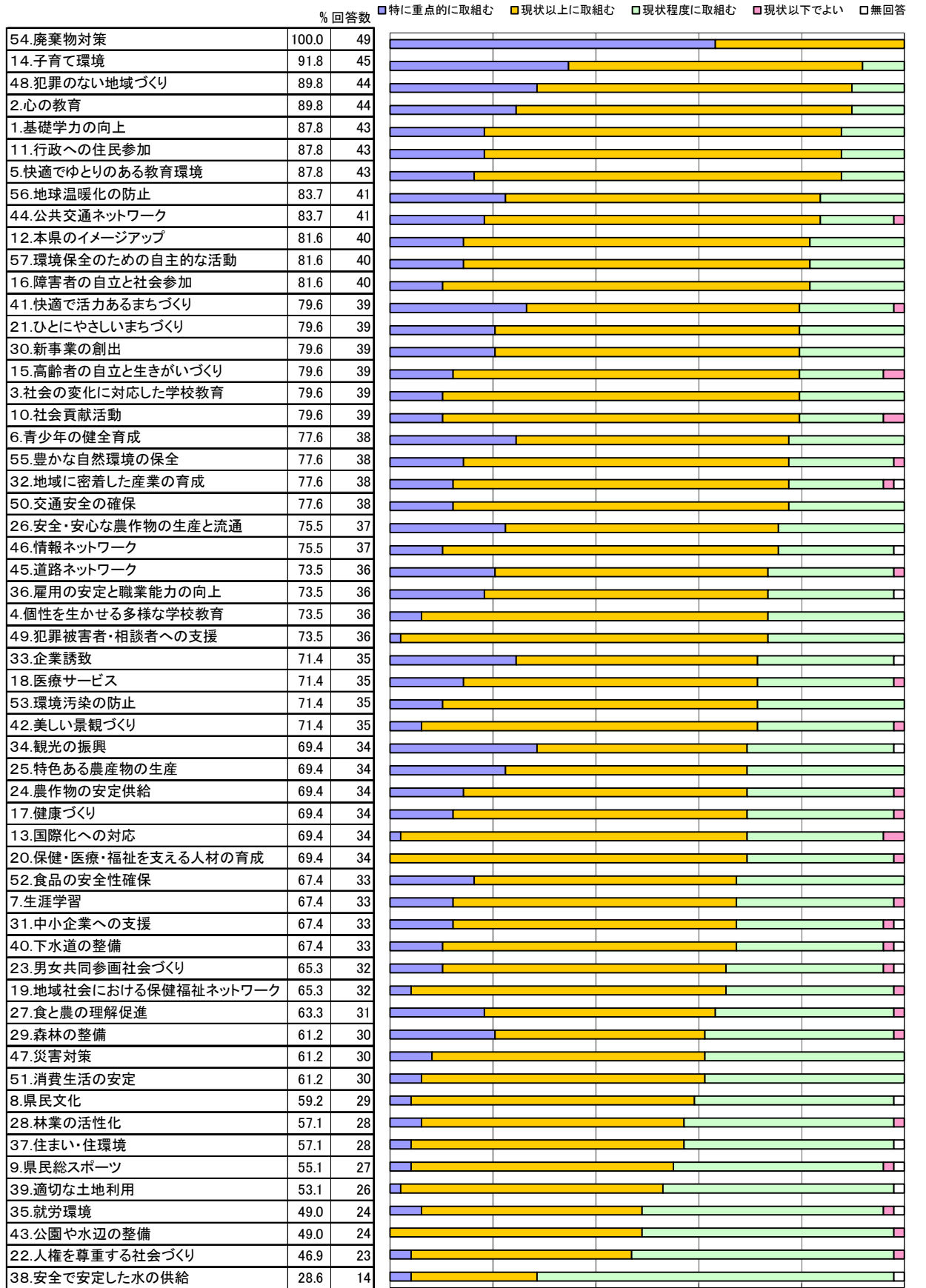
- ・「38.安全で安定した水の供給」(回答数 14、28.6%)
- ・「22.人権を尊重する社会づくり」(同 23、46.9%)
- ・「35.就労環境」「43.公園や水辺の整備」(同 24、49.0%)
- ・「39.適切な土地利用」(同 26、53.1%)

### ② 属性別の特徴

市・町村別では市では「33.企業誘致」と「54.廃棄物対策」が共に最上位で、町村では「1.基礎学力の向上」、「14.子育て環境」、「2.心の教育」などが上位を占めた。

地域別では県北で「2.心の教育」、「11.行政への住民参加」、「54.廃棄物対策」が最上位に並んでいるほか、県央では「48.犯罪のない地域づくり」、「50.交通安全の確保」、「54.廃棄物対策」が、県南では「1.基礎学力の向上」、「54.廃棄物対策」が最上位となっている。

□今後の行政の必要性(「特に重点的に取組む」及び「現状以上に取組む」を回答した割合順)



※回答者全体に対する割合

[参考表1]

問2のそれぞれの設問ごとに、現状評価（『不滿意識』）が高い分野、行政の取組の必要性（『必要意識』）が高い分野について、属性別にみると次のとおりとなる。

区分	順位	問2(1)現状評価(不滿意識:高い)			順位	問2(2)行政の取組の必要性(必要意識:高い)		
		項目	回答数	割合		項目	回答数	割合
全体	1	54.廃棄物対策	34	69.4%	1	54.廃棄物対策	49	100.0%
	2	44.公共交通ネットワーク	33	67.4%	2	14.子育て環境	45	91.8%
	3	12.本県のイメージアップ	32	65.3%	3	48.犯罪のない地域づくり	44	89.8%
	3	32.地域に密着した産業の育成	32	65.3%	3	2.心の教育	44	89.8%
	5	21.ひとにやさしいまちづくり	30	61.2%	5	1.基礎学力の向上	43	87.8%
	5	56.地球温暖化の防止	30	61.2%	5	11.行政への住民参加	43	87.8%
	7	30.新事業の創出	29	59.2%	5	5.快適でゆとりのある教育環境	43	87.8%
	8	40.下水道の整備	28	57.1%	8	56.地球温暖化の防止	41	83.7%
	9	33.企業誘致	27	55.1%	8	44.公共交通ネットワーク	41	83.7%
	9	41.快適で活力あるまちづくり	27	55.1%	10	12.本県のイメージアップ	40	81.6%
					10	57.環境保全のための自主的な活動	40	81.6%
					10	16.障害者の自立と社会参加	40	81.6%
市	1	16.障害者の自立と社会参加	8	66.7%	1	33.企業誘致	12	100.0%
	1	21.ひとにやさしいまちづくり	8	66.7%	1	54.廃棄物対策	12	100.0%
	1	48.犯罪のない地域づくり	8	66.7%	3	5.快適でゆとりのある教育環境	11	91.7%
	1	54.廃棄物対策	8	66.7%	3	11.行政への住民参加	11	91.7%
	5	11.行政への住民参加	7	58.3%	3	16.障害者の自立と社会参加	11	91.7%
	5	12.本県のイメージアップ	7	58.3%	3	48.犯罪のない地域づくり	11	91.7%
	5	18.医療サービス	7	58.3%				
	5	33.企業誘致	7	58.3%				
	5	40.下水道の整備	7	58.3%				
	5	44.公共交通ネットワーク	7	58.3%				
	5	49.犯罪被害者・相談者への支援	7	58.3%				
	5	56.地球温暖化の防止	7	58.3%				
	町村	1	32.地域に密着した産業の育成	26	70.3%	1	54.廃棄物対策	37
1		44.公共交通ネットワーク	26	70.3%	2	1.基礎学力の向上	35	94.6%
1		54.廃棄物対策	26	70.3%	2	14.子育て環境	35	94.6%
4		12.本県のイメージアップ	25	67.6%	4	2.心の教育	34	91.9%
5		30.新事業の創出	23	62.2%	5	3.社会の変化に対応した学校教育	33	89.2%
5		41.快適で活力あるまちづくり	23	62.2%	5	48.犯罪のない地域づくり	33	89.2%
県北	1	44.公共交通ネットワーク	15	71.4%	1	2.心の教育	21	100.0%
	2	18.医療サービス	14	66.7%	1	11.行政への住民参加	21	100.0%
	3	10.社会貢献活動	13	61.9%	1	54.廃棄物対策	21	100.0%
	3	12.本県のイメージアップ	13	61.9%	4	1.基礎学力の向上	20	95.2%
	3	13.国際化への対応	13	61.9%	4	14.子育て環境	20	95.2%
	3	46.情報ネットワーク	13	61.9%				
	3	54.廃棄物対策	13	61.9%				
県央	1	44.公共交通ネットワーク	12	85.7%	1	48.犯罪のない地域づくり	14	100.0%
	2	54.廃棄物対策	11	78.6%	1	50.交通安全の確保	14	100.0%
	3	41.快適で活力あるまちづくり	10	71.4%	1	54.廃棄物対策	14	100.0%
	4	32.地域に密着した産業の育成	9	64.3%	4	14.子育て環境	13	92.9%
	4	40.下水道の整備	9	64.3%	4	44.公共交通ネットワーク	13	92.9%
	4	56.地球温暖化の防止	9	64.3%				
県南	1	12.本県のイメージアップ	11	78.6%	1	1.基礎学力の向上	14	100.0%
	1	32.地域に密着した産業の育成	11	78.6%	1	54.廃棄物対策	14	100.0%
	3	21.ひとにやさしいまちづくり	10	71.4%	3	5.快適でゆとりのある教育環境	13	92.9%
	3	30.新事業の創出	10	71.4%	3	21.ひとにやさしいまちづくり	13	92.9%
	3	54.廃棄物対策	10	71.4%	3	48.犯罪のない地域づくり	13	92.9%
	3	56.地球温暖化の防止	10	71.4%	3	57.環境保全のための自主的な活動	13	92.9%

[参考表2]

また、現状評価（『満足意識』）が高い分野、行政の取組の必要性（『必要意識』）が低い分野について、属性別にみると次のとおりとなる。

区分	順位	問2(1)現状評価(満足意識:高い)			順位	問2(2)行政の取組の必要性(必要意識:低い)		
		項目	回答数	割合		項目	回答数	割合
全体	1	25.特色ある農産物の生産	29	59.2%	1	38.安全で安定した水の供給	14	28.6%
	2	38.安全で安定した水の供給	27	55.1%	2	22.人権を尊重する社会づくり	23	46.9%
	3	7.生涯学習	19	38.8%	3	43.公園や水辺の整備	24	49.0%
	4	17.健康づくり	18	36.7%	3	35.就労環境	24	49.0%
	4	19.地域社会における保健福祉ネットワーク	18	36.7%	5	39.適切な土地利用	26	53.1%
	6	18.医療サービス	17	34.7%	6	9.県民総スポーツ	27	55.1%
	6	43.公園や水辺の整備	17	34.7%	7	37.住まい・住環境	28	57.1%
	8	47.災害対策	16	32.7%	7	28.林業の活性化	28	57.1%
	9	15.高齢者の自立と生きがいづくり	15	30.6%	9	8.県民文化	29	59.2%
	9	27.食と農の理解促進	15	30.6%	10	51.消費生活の安定	30	61.2%
	9	34.観光の振興	15	30.6%	10	47.災害対策	30	61.2%
					10	29.森林の整備	30	61.2%
市	1	25.特色ある農産物の生産	9	75.0%	1	43.公園や水辺の整備	3	25.0%
	2	15.高齢者の自立と生きがいづくり	8	66.7%	2	38.安全で安定した水の供給	4	33.3%
	2	38.安全で安定した水の供給	8	66.7%	3	28.林業の活性化	5	41.7%
	4	31.中小企業への支援	7	58.3%	4	45.道路ネットワーク	6	50.0%
	4	43.公園や水辺の整備	7	58.3%	4	37.住まい・住環境	6	50.0%
					4	35.就労環境	6	50.0%
					4	22.人権を尊重する社会づくり	6	50.0%
					4	9.県民総スポーツ	6	50.0%
					4	8.県民文化	6	50.0%
				4	3.社会の変化に対応した学校教育	6	50.0%	
町村	1	25.特色ある農産物の生産	20	54.1%	1	38.安全で安定した水の供給	10	27.0%
	2	38.安全で安定した水の供給	19	51.4%	2	22.人権を尊重する社会づくり	17	45.9%
	3	7.生涯学習	13	35.1%	3	39.適切な土地利用	18	48.6%
	3	18.医療サービス	13	35.1%	3	35.就労環境	18	48.6%
	5	17.健康づくり	12	32.4%	5	43.公園や水辺の整備	21	56.8%
	5	19.地域社会における保健福祉ネットワーク	12	32.4%	5	9.県民総スポーツ	21	56.8%
県北	1	38.安全で安定した水の供給	12	57.1%	1	38.安全で安定した水の供給	6	28.6%
	2	25.特色ある農産物の生産	11	52.4%	2	43.公園や水辺の整備	11	52.4%
	3	47.災害対策	9	42.9%	2	39.適切な土地利用	11	52.4%
	4	17.健康づくり	8	38.1%	2	37.住まい・住環境	11	52.4%
	4	19.地域社会における保健福祉ネットワーク	8	38.1%	2	27.食と農の理解促進	11	52.4%
	4	27.食と農の理解促進	8	38.1%	2	22.人権を尊重する社会づくり	11	52.4%
	4	43.公園や水辺の整備	8	38.1%				
県央	1	25.特色ある農産物の生産	11	78.6%	1	38.安全で安定した水の供給	3	21.4%
	2	38.安全で安定した水の供給	9	64.3%	2	35.就労環境	5	35.7%
	3	1.基礎学力の向上	8	57.1%	3	22.人権を尊重する社会づくり	6	42.9%
	4	18.医療サービス	7	50.0%	3	9.県民総スポーツ	6	42.9%
	5	7.生涯学習	6	42.9%	3	8.県民文化	6	42.9%
	5	24.農作物の安定供給	6	42.9%				
	5	34.観光の振興	6	42.9%				
県南	1	7.生涯学習	9	64.3%	1	38.安全で安定した水の供給	5	35.7%
	2	25.特色ある農産物の生産	7	50.0%	1	29.森林の整備	5	35.7%
	3	18.医療サービス	6	42.9%	1	28.林業の活性化	5	35.7%
	3	19.地域社会における保健福祉ネットワーク	6	42.9%	4	43.公園や水辺の整備	6	42.9%
	3	38.安全で安定した水の供給	6	42.9%	4	22.人権を尊重する社会づくり	6	42.9%



### (3) これからの市町村の役割について

今後、市町村の役割が大きくなるであろう分野について、市町村長の意識を把握したものである。

(1)、(2)と同じ分野ごとに、市町村の役割が、現状以上に高くなると考えるものを選択してもらった。

#### ① 全体の特徴

「市町村の役割が大きくなる」と回答した者の割合が高い分野は、

- ・「54.廃棄物対策」(回答数 41、83.7%)
- ・「11.行政への住民参加」、「21.ひとにやさしいまちづくり」(同 38、77.6%)
- ・「2.心の教育」、「14.子育て環境」(同 35、71.4%)

一方、「市町村の役割が大きくなる」と回答した者の割合が低い分野は、

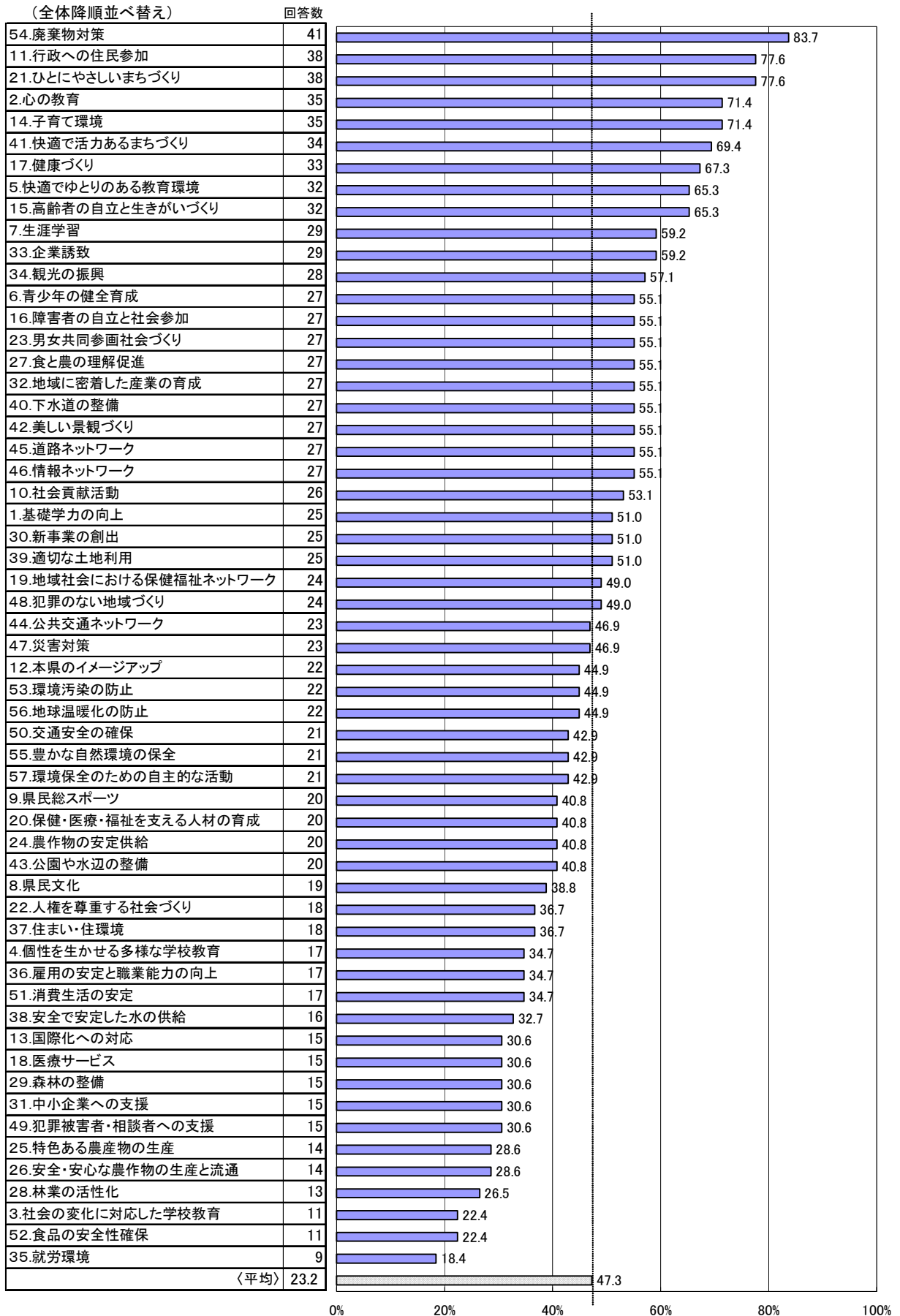
- ・「35.就労環境」(回答数 9、18.4%)
- ・「3.社会の変化に対応した学校教育」、「52.食品の安全性確保」(同 11、22.4%)
- ・「28.林業の活性化」(同 13、26.5%)
- ・「25.特色ある農産物の生産」、「26.安全・安心な農作物の生産と流通」(同 14、28.6%)

#### ② 属性別の特徴

市・町村間で差の大きい分野としては、町村で「41.快適で活力あるまちづくり」や「32.地域に密着した産業の育成」、「24.農産物の安定供給」、「43.公園や水辺の整備」が高かった。

また、地域別では、県北で「17.健康づくり」、県央で「41.快適で活力あるまちづくり」、「48.犯罪のないまちづくり」、県南では「47.災害対策」、「33.企業誘致」が高かった。

□市町村の役割が現状以上に大きくなる分野



#### (4) 今後の住民の役割について

今後、県民（個人、企業、各種団体などの民間全般）の役割が大きくなるであろう分野について、市町村長の意識を把握したものである。

(1)、(2)と同じ分野ごとに、県民の役割が、現状以上に高くなるものを選択してもらった。

##### ① 全体の特徴

「県民の役割が大きくなる」と回答した者の割合が高い分野は、

- ・「48.犯罪のない地域づくり」（回答数 37、75.5%）
- ・「10.社会貢献活動」（同 36、73.5%）
- ・「6.青少年の健全育成」、「23.男女共同参画社会づくり」、「54.廃棄物対策」（同 33、67.3%）
- ・「15.高齢者の自立と生きがいつくり」、「19.地域社会における保健福祉ネットワーク」、「57.環境保全のための自主的な活動」（同 31、63.3%）

一方、「県民の役割が大きくなる」と回答した者の割合が低い分野は、

- ・「38.安全で安定した水の供給」（回答数 2、4.1%）
- ・「1.基礎学力の向上」（同 3、6.1%）
- ・「45.道路ネットワーク」（同 4、8.2%）
- ・「5.快適でゆとりのある教育環境」（同 5、10.2%）
- ・「40.下水道の整備」（同 6、12.2%）

##### ② 属性別の特徴

市・町村別を見ると、市では「14.子育て環境」が最も高く、「15.高齢者の自立と生きがいつくり」、「16.障害者の自立と社会参加」の順である。町村では「23.男女共同参画社会づくり」、「26.安全で安心な農産物の生産と流通」、「32.地域に密着した産業の育成」が比較的高い。

地域別では、県北で「54.廃棄物対策」、県央で「48.犯罪のないまちづくり」、「19.地域社会における保健福祉ネットワーク」、県南で「27.食と農の理解促進」が他の地域に比べて高い。

□住民の役割が現状以上に大きくなる分野

